

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 日高市教育委員会(生涯学習課))

- ・ 生涯学習課では、事業実施において新型コロナウイルス感染症感染防止対策を実施し行いました。
- ・ 生涯学習担当としては、青少年育成日高市民会議と協力し啓発活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの啓発活動が中止となりました。いくつもの事業が中止となるなか、ひ・まわり探検隊の参加者が延べ812名の参加がありました。また、成人式の参加者が424名ありました。
- ・ 6公民館の青少年を対象にした教育事業においては、26教室、延べ333名の参加がありました。
- ・ スポーツ事業においては、ひだかの秋チャレンジウオークに99名の参加がありました。
- ・ 図書館事業においては、おはなしポケット、ビブリオバトル等の教室で、延べ626名の参加がありました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 飯能警察署)

- 1 非行防止教室の実施
飯能市、日高市の小学3、4年生に対し、万引き防止及び不審者対応訓練を実施
- 2 新入学児童に対する下校指導
管内全小学校において、新型コロナウイルス感染防止に留意し、新入学児童に対し、不審者に対する注意喚起、交通事故防止に対する注意喚起を実施
- 3 不審者情報に基づく、通学路でのパトロール
不審者情報に基づき、下校指導の実施と通学路でのパトロール
- 4 市・学校・家庭との連携
児童虐待事案をはじめ、少年係で取り扱った少年に対し、各機関との情報共有を実施

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市校長会 (小学校))

- ・ 各学期の最終日に、全職により市内 8 つのエリアに分けパトロールを実施
- ・ 薬物乱用防止教室を 6 年生で実施 (3 学期)
- ・ スマホの正しい使い方講座の実施 5 年生 (ドコモ)
- ・ 保護者との個人面談の実施
- ・ 登下校の安全指導の実施
- ・ 民生児童委員さんとの話合いの実施
- ・ 健全育成の会とのあいさつ運動の実施
- ・ 各学期「いじめアンケート」の実施
- ・ 「早ね、早おき、朝ごはん、朝うんち、朝えがお」の取組 (合言葉)
- ・ 「5 つのがんばり」を推奨
(あいさつ・学習・ゲーム・読書・規則正しい生活)
(小・中・PTA ・健全育成)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市校長会 (中学校))

今年度もコロナ禍の対応として、マスク着用や 3 密を避ける等日々の生活にストレスを感じた生活が続いている。また、楽しみにしている行事等が縮小されたり、延期、中止となっているため、生徒への精神的負担は大きくになっている。そこで、

- ① 日高市内の各小中学校では、人権尊重や生命尊重の視点で教育の一層の推進を図っている。
- ② 児童生徒一人ひとりを伸ばす教育を推進するとともに、児童生徒の悩みや不安を解消できるよう定期的に支援や相談活動を行っている。
- ③ 組織的な体制作りを整え、事案が発生したときには、速やかにその組織を機能させ対応している。
- ④ 教育委員会や教育センター等の指導、また関係諸機関との連携を図り、課題解決に向けた素早い対応を心がけている。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 県立日高高等学校)

- ・ PTA と協力して、年 3 回交通安全指導を行った。
- ・ 例年高萩北小の下校指導 (見守り指導) を生徒会生徒が行っているが、コロナのため実施できなかった。
- ・ 生徒指導部教員が定期的に駅周辺及び学校近隣のパトロールを行っている。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 県川越児童相談所)

- ・ 当所では、今年度 (R3.4.1~R3.12.31 まで)、虐待や障害、非行、育成等の相談約 4, 1 2 7 件について対応しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; さいたま地方法務局所沢支局)

- ・ 市内各小中学校へ人権教室の案内を配布。
- ・ 管内小中学校へ SOS ミニレター配布。小学生からのミニレター 3 通に対応した。
- ・ 中学生を対象に、人権作文コンテストを実施した。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市いじめ問題専門委員会)

- ・ 昨年度の会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面による会議となりました。いじめの案件を初期の段階で把握するための方策や教育現場での対応について検討してきました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市民生委員・児童委員協議会)

- ・ 毎年、民生・児童委員で市内の学校区別にパトロールを夏休み中に実施していたが、今年度は中止した。
- ・ 日高市内の小中学校ごとに行っている協議会 (学校側と、民生・児童委員) は行わずに主任児童委員が民生委員から情報を集めて各小中学校と情報交換を実施した。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市社会福祉協議会)

- ・ ボランティア体験プログラムを実施し、参加者 9 9 名のうち小学生 5 名、中学生 7 0 名、高校生 7 名の参加があった。
- ・ 地域食堂・子ども食堂を市内 4 団体が 6 ケ所で実施。コロナ禍で現在はお弁当配布を実施。
- ・ 子ども食堂情報交換会を開催し、団体のネットワーク構築を社協で実施。
- ・ 県主催のヤングケアラー研修に参加、県社協主催のヤングケアラー支援についての情報交換会に参加。
- ・ 日高市自立相談支援センターでは、ひきこもりの相談が増加。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市区長会(高麗川地区区長会))

- ・ 特にありません。新型コロナウイルス感染症の影響で出来ませんでした。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市保護司会)

- ・ 年間を通して保護観察、環境調整の実施
- ・ 保護司・更生保護女性会員の研修 (映画視聴予定)
- ・ 社会を明るくする運動

7月は強調月間で例年であれば各学校、市内スーパーにて啓発PRを行うが、今年度コロナ禍により各学校・公民館へ図書(ケーキの切れない非行少年たち他)寄贈。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 青少年育成日高市民会議)

- ・ 薬物乱用防止等非行防止活動(7・10・11月)、全体会議(10月)、青少年の主張大会会場での主張及び「家族ふれあい」ポスターコンクール表彰式(11月)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。青少年の主張大会(作文審査)及び「家族ふれあい」ポスターコンクールの参加賞、賞状、副賞は事務局が各学校へ持参。
- ・ 「家族ふれあい」作品展(11月23日(火)～12月2日(木))を総合福祉センター「高麗の郷」ロビーで開催。
- ・ 青少年の主張大会市長賞受賞作文及び「家族ふれあい」ポスターコンクール受賞作品展(12月11日(土)～23日(木))をひだかアリーナ内「ミニギャラリー」で開催。
- ・ 令和4年2月の手づくり凧揚げ大会が中止となったため、参加を予定していた青少年健全育成等啓発活動(啓発用ティッシュ配布、「懸垂幕」設置)は中止。
- ・ 青少年の主張大会の「作品集」及び広報誌「ハッピークローバー」を今年度中に発行予定。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市 P T A 連合会(高萩中学校 P T A))

- 朝の登校指導を実施し、交通安全と挨拶・声かけをしました。
- 高萩地区青少年健全育成の会実施の地域清掃活動及び地域交流会に参加しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市子ども会育成連絡協議会)

- 今年度計画しましたメイン事業(おらがむらの相撲大会、ひだか郷土かるた大会)は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。
今後の活動につきましては、これから協議の予定です。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市青少年相談員協議会)

- 公民館との共催で夏休みイベントを開催しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で主催イベントは行えませんでした。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市青少年育成推進委員会)

- 例年、各地での薬物乱用等非行防止等キャンペーン(市内中学校・高校・各地区体育祭・市民まつり、凧揚げ大会など)、及び各地域非行防止パトロール、並びに日高市青少年の主張大会・「家族ふれあい」ポスターコンクール等に協力させていただいていますが、新型コロナウイルス感染症感染の影響で中止となり行えませんでした
今後の活動につきましては、これから協議の予定です。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市スポーツ少年団)

- 今年度もコロナ禍に伴い感染防止策をスポ少本部及び各単位団別に周知徹底を図り、子どもたちも自覚を持った行動が出来るようになった。
- コロナ禍に伴い、一部の大会が中止となるが市長杯などが開催され、子どもたちの目標が達成出来て良い思い出が作れた。
- 団員不足に伴い、他団との連合活動が多くなり、より多く子供同志の親睦が図れ楽しく出来た。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名；埼玉女子短期大学)

- 1 授業「マナーとホスピタリティ I II」：埼玉女子短期大学根幹の授業のひとつとして、「心の美人」を目指すことを目標とし、豊かな心の育成、他者を慮る心の育成を「マナーとホスピタリティ I II」の授業を通して1年間学ぶ教育プログラムを行っている。今年度は、授業も秋学期は10月8日から対面授業実施となり、「マナー・ホスピタリティ検定」も実施することとなった。
- 2 森川・エアライン専門ゼミ 福島県塙町と協賛で池袋サンシャインシティにてダリアマルシェ主催 ダリア栽培の花販売と関連製作品紹介のプレゼンテーション、福島県塙町との協働プロジェクトを10月1日から10月3日まで行い、コロナ禍での生花のイベント等における生花キャンセルを無駄にしない活用法として地域活性化も行い、こうした活動を通して豊かな心の育成、他者を慮る心、自信を持って自らの考えを発信する力の育成を目指している。なお、このプロジェクトは塙町地域おこしへの取組研究ともなっており、翌年1月までも継続する。
- 3 三ツ木専門ゼミ 10月31日と11月13日に、大宮アルディージャとの産学連携プロジェクトで、VIPアテンド、オフィシャル冊子作成・配布を行い、専門ゼミ（特別学外活動）の一環として、こうした企画・運営を通して豊かな心の育成、他者を慮る心、自信を持って自らの考えを発信する力、問題解決能力の育成を目指している。
- 4 新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けて、大学祭は対面では行わず、「オンライン彩女祭」第33回を開催することになった。内容はオンラインによる基礎ゼミ発表、専門ゼミ発表、ダンスフェスタ、SAIJOの部屋：先生や職員へのインタビュー、ディズニーミュージックメドレー、ファッションショー、方言女子などであり、コロナ禍ではあったが、人と人のつながりや学習成果を感じることができるプログラム運営となった。
- 5 冬フェス2021：SAIJO Winter Festival も、12/8に本学体育館にて対面実施で行い、コロナ禍ではあるが、衛生面に気を付けて、クリスマス気分を味わう企画となった。
- 6 清水ゼミ（ファッション）では、ファッションファッション雑誌の作成活動、企業担当者へのインタビューを株式会社ナイスクラブ、株式会社パルと行った。
- 7 ICT・メディア委員会では、秋学期選書ツアーを2021年12月5日（日）に紀伊国屋書店 川越店にて、行った。参加は学生10名程度で教職員3名が参加し、学生自らが図書館蔵書の選書に加わることで、図書館利用を促進する試みとなっている。